

軽井沢ウイスキー株式会社

株式会社 Plan・Do・See

三菱地所株式会社

## ウイスキー「軽井沢」製造開始に向けた連携開始

軽井沢ウイスキー株式会社（以下、軽井沢ウイスキー社）、株式会社 Plan・Do・See（以下、Plan・Do・See）および三菱地所株式会社（以下、三菱地所）はこのほど、日本初のシングルモルトウイスキーが生まれた軽井沢でのウイスキーの製造開始および長野県東信地域の活性化に向けた取り組み（以下、本取り組み）を開始いたします。三社は2021年4月に基本協定を結び、軽井沢ウイスキー社による2022年の販売開始に向け、Plan・Do・See および三菱地所はウイスキー「軽井沢」のブランディング・販売促進等を連携して行っております。

軽井沢でのウイスキー製造の取り組みは、1955年竣工の「大黒葡萄酒軽井沢蒸留所」より始まりました。製造会社の度重なる吸収合併を経て「メルシャン軽井沢ウイスキー蒸留所」の2012年の閉鎖により、軽井沢でのウイスキー製造は途絶えてしまいましたが、現存する「メルシャン軽井沢ウイスキー蒸留所」で製造されたウイスキーはオークション等で高額取引されるなど、希少性と味わいが再評価され、現在は世界的に人気が高く入手困難なジャパニーズウイスキーのひとつとなっています。



▲「メルシャン軽井沢ウイスキー蒸留所」跡地  
(所在地：長野県北佐久郡御代田町)



▲メルシャン軽井沢 12年

軽井沢ウイスキー社は、「メルシャン軽井沢ウイスキー蒸留所」でウイスキーの製造に50年間にわたって携わり、同蒸留所の閉鎖まで見守った最後のモルトマスターである内堀修身氏を顧問に、また、同じくメルシャン軽井沢ウイスキー蒸留所のウイスキー・ディスティラーであった中里美行氏を工場長として招き、ウイスキー「軽井沢」の蒸留を開始、2022年の販売開始を目指し、2021年12月に蒸留所「軽井沢蒸留所」の建設に着工します。本取り組みを通じて、かつて世界を魅了した技術を再び軽井沢の地で花開かせ、若い世代へとつなげていきます。



▲ウイスキー「軽井沢」 樽イメージ



KARUIZAWA  
WHISKY

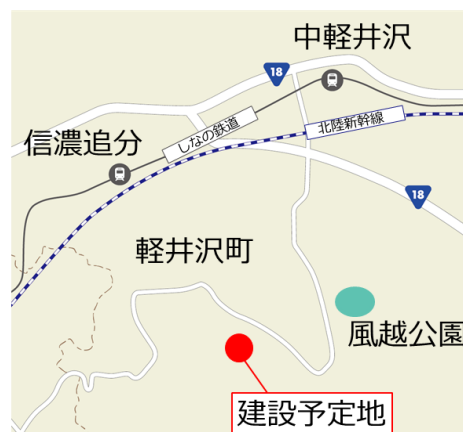
▲軽井沢ウイスキー社 ロゴ

Plan・Do・See は本取り組みにおいて、軽井沢ウイスキー社に出資のうえ、ホテル・レストラン等営業施設でのPR活動・販売等、ウイスキー「軽井沢」ブランドの向上に向けた活動を行います。

三菱地所は長野県東信地域におけるしなの鉄道沿線活性化に向け、地元企業支援を継続的に推進しておりますが、本取り組みにおいて、東京・丸の内エリア（大手町・丸の内・有楽町）の事業者や就業者などに向けた情報発信や接点づくりを支援し、ウイスキー「軽井沢」を通して消費者が地域の魅力に出逢う機会を提供していきます。

## ■軽井沢ウイスキー社および軽井沢蒸留所について

軽井沢ウイスキー社は、日本初のシングルモルトウイスキーが生まれた軽井沢でのウイスキーの製造開始を目的に、1653年創業の戸塚酒造株式会社（所在地：長野県佐久市 以下、戸塚酒造）の16代目 戸塚繁社長の個人出資により設立した会社です。2022年の販売開始を目指し、軽井沢町に於いて「軽井沢蒸留所」の建設を進めており、各種行政協議を経て2021年12月に着工します。軽井沢蒸留所では、「メルシャン軽井沢ウイスキー蒸留所」の最後のモルトマスターである内堀修身氏を顧問に、また、同じく「メルシャン軽井沢ウイスキー蒸留所」のウイスキー・ディスティラーであった中里美行氏を工場長として招き、ウイスキーの製造を進めていきます。浅間山や八ヶ岳山麓の水を用い、原料の大麦は佐久地方などで地元農協や地元農家のみなさまと協力して栽培したものも使用する予定です。



▲軽井沢ウイスキー社が建設する  
軽井沢蒸留所予定地  
(所在地：北佐久郡軽井沢町大字発地)

### 【軽井沢ウイスキー社 戸塚繁社長】



▲戸塚繁社長

(写真：Hiroaki Finito Yamaguchi)

#### <コメント>

私たちが目指すのは、軽井沢から発信する唯一無二のウイスキー。地の水、地の風を活かして、地元産の原料を中心に醸すことで、ウイスキー「軽井沢」にしか出せない味わいを追及していきます。

#### <プロフィール>

1653年（江戸時代）創業の戸塚酒造16代目当主。東京日本橋の清酒卸問屋で修行の後1999年に戸塚酒造に入社。以来、ウイスキー「軽井沢」製造に向けた活動を開始。

### 【軽井沢蒸留所 内堀修身顧問】



▲内堀修身氏

#### <コメント>

ウイスキー作りで一番大事な要素は「水」。水と風土に恵まれた軽井沢のこの土地で、今まで以上の味わいを醸しだしていきたい。

#### <プロフィール>

1960年4月現メルシャン株式会社入社。マッシング、蒸留、樽の選定、ボトリング、酒税管理に至るまでほぼ全てを担当。最後のモルトマスターとして、50年にわたって「メルシャン軽井沢ウイスキー蒸留所」に勤務。2008年にメルシャンを退社し、2021年より軽井沢ウイスキー社顧問に就任。

## 【軽井沢蒸留所 中里美行工場長】



▲中里美行氏

### <コメント>

以前と同じ味はもちろんの事、それをを超えるものを期待されていると感じている。内堀さんと、また、ウイスキーを作れることが本当に楽しみ。

### <プロフィール>

1995年に「メルシャン軽井沢ウイスキー蒸留所」に入所。当初は樽職人として採用されたが、オールマイティーに何でもこなし、蒸留所閉鎖時には最後の工場長として勤務。2018年にメルシャンを退社し、2022年より軽井沢ウイスキー一社工場長に就任予定。

## ■Plan・Do・See について

Plan・Do・See は本取り組みにおいて、国内外問わず自社運営施設のホテル・レストラン・旅館・料亭をはじめ、協業先の希少性の高い営業施設との連携やカスタマーコミュニケーションを通じて「軽井沢」ブランドの向上に向けた活動を行います。

## ■三菱地所について

三菱地所は、2016年9月に八十二銀行のほか、三菱グループの金融機関との間で長野県の地方創生に関する連携協定を締結、総合デベロッパーとして長年培ってきたノウハウを活かし、観光振興に向けたリゾート事業発展に資する施策や、快適なまちづくりの推進のための開発手法などについてサポートを行ってまいりました。具体的には、しなの鉄道が2019年2月に実施した軽井沢駅北口東側遊休地の活用事業に関するコンペティションに参加し、優先交渉権を獲得、同事業の検討を進めると共に、2020年9月には出資先企業と連携して長野県上田市でプログラミング教室を開催する等、グループ会社、出資協業先等とも連携して長野県・しなの鉄道沿線地域の活性化に向けた施策を進めてまいります。

以 上